

みんなの研修会
「民主主義 ～社会をケアする技法～」



民主主義 ～社会をケアする技法

日時：2024年2月11日(日) 13:00～15:00
場所：日本基督教団六角橋教会
連絡先：045(432)0694

講師：宇野重規さん(東京大学教授、日本政治学会理事長)

パネルトーク・ゲストスピーカー：玄田有史さん(東京大学教授)

オンライン配信あり
教会HPからどうぞ



■講師より■

民主主義とは何でしょうか。選挙で投票することでしょうか。あるいは多数決でものごとを決めることでしょうか。確かに、それらは民主主義の一つの要素ではあるかもしれませんが（とはいえ、多数決ですべてを決めてしまっているのでしょうか？）。けれども、民主主義とは本来、もっともっと重要な意味があるはずです。

この言葉はもともと「人々の力」を意味したものです（古代ギリシア語です）。そこには「この社会は自分たちのものなんだ！」と心から思えること、社会を支えるために自ら動き、人と力を合わせていくことが含まれています。

その意味では、民主主義とは「社会をケアする技法」なのかもしれません。日本の各地で「自分で始めた人たち」も大勢います。民主主義を思想と多くの実践例から考えてみたいと思います。

（宇野重規）

☆創作にあたって私なりの解釈☆

会社の同僚とトランプのオリジナルゲームを考える遊びをしたことがあります。

手札は何枚がいいか、どのぐらいの時間で終わるのがいいのか…。

その時に、ああゲームのルールって『楽しさ』のためにあるんだなって思いました。

民主主義のルールは何のためにあるのでしょうか。

今回は体の一部だけ枠からはみ出すルールに基づいて描いてみました。

（藤原公輝）



（講師）



横浜市青葉区
2021年1月30日
玉城達郎撮影

毎日新聞
(2021/2) より